

容器包装の 3R を進める全国ネットワーク

中井 八千代様

日頃は大変お世話になっております。

アサヒビールお客様相談室でございます。

中井様から頂きました、「ノンアルコールビール入りペットボトル容器についての質問書」につきまして回答させていただきます。

よろしくご査収いただきますようお願い申し上げます。

【散乱ごみ問題について】

<回答>

散乱ごみにつきましては、ご購入されるお客様のご理解、ご協力が必要と考えております。

お客様へのポイ捨て防止などの啓発のため、弊社としましても識別マークとともに、「容器は投げ捨てずにリサイクル」を容器へ表示しております。

また、散乱防止を幅広く啓発するため、個社の活動に留まらず、食品容器環境美化協会をはじめ 3R 推進団体へ加盟し、町の美化手法「アダプトプログラム」の支援、次世代の環境美化教育の推進や 3R 推進団体連絡会の自主行動計画に基づいた目標達成に協力しております。

【発生抑制について】

<回答>

プラスチック容器の使用については、先の G 7 の議題でも取り上げられるなど海洋汚染、マイクロプラスチック問題への対応のため、各国でのプラスチック使用の縮小、廃止の動向は存じております。

弊社としましては、他の容器と比較して PET ボトルの特長やお客様の利便性を考慮して利用する一方で、更なる軽量化に取り組んでいます。酒類容器でも従来 PET ボトルより 20% 軽量化した容器の開発・利用を実施しております。また、PET ボトルリサイクル推進協議会へ加盟し業界全体でもリデュースを始め 3R の推進に協力しております。

【数値目標について】

<回答>

循環型社会形成に向けて、中長期目標数値を掲げて国際的な課題へ早期に対応されている企業もございますが、弊社としましては、3R 推進団体の自主行動計画が達成できるように積極的な協力・推進をまいります。

【マイクロプラスチック対策について】

<回答>

マイクロプラスチック問題に関しては、PET ボトル容器だけではなくプラスチック製品など全てが対象となっております。その中で2016年度のPET ボトルリサイクル率は83.9%と目標値の85%は下回りましたが、欧州の約40%、米国の約20%と比較して高い水準と考えます。また、ボトル to ボトルのリサイクルも全体の約24%と前年比約55%増となっております。

PET ボトルの回収に関しましては、デポジット制もその一つの施策と考えます。しかし、デポジット制はPET ボトル利用事業者全体、流通業界、自治体などの連携が必要であり、回収設備・保管場所などのコスト面や自治体回収での混乱を招かないかなど、議論・検討が必要と考えます。

今後も3R推進団体などと連携を取り3Rの更なる推進、PET ボトル自主設計ガイドラインを元に環境に配慮した容器・包装の開発や利用を進めてまいります。

(※数値はPET ボトルリサイクル推進協議会 「PET ボトルリサイクル年次報告書2017」を引用)

以上でございます。

弊社としましてもたくさんの皆様に喜んでいただける商品のご提案に、更なる努力を重ねて参りたいと存じます。

今後ともアサヒビールをご愛顧いただければ幸いに存じます。

Eメールでのご意見は、弊社受信専用メールアドレス

webmaster@asahibeer.co.jp

アサヒビール株式会社 お客様相談室

〒130-8602 東京都墨田区吾妻橋1-23-1

フリーダイヤル 0120-011-121

AM9:00~PM5:00(土日祝日を除く)

お願い：転用・流用はご遠慮いただきます様にお願いいたします。
